

プリペイドカード(電子マネー)決済を悪用する業者に気をつけて!

2015年4月15日号

近年、キャッシュレスでの支払い手段が次々と登場しています。その一つにプリペイドカードがあります。その仕組みは、プリペイドカード会社へ事前にお金を支払い、お金の価値(バリュー)を購入(チャージ)します。チャージすると、プリペイドカード会社の記録媒体に電子データが送られ、保存されると商品やサービスの支払いとして利用できます。

記録媒体には IC 型(ICOCA など)、サーバ型がありますが、近頃よく使われるのはサーバ型で、プリペイドカードそのものがなくてもカード番号だけでチャージできるため、誰がチャージ・利用したのかわからない匿名性の高いカードです。

ネット上の悪質なサイトは、保有するプリペイドカード番号あてにチャージするよう指示を出します。騙されたと気づいても、一旦チャージした金額を取り戻すことは困難です。チャージするまでに消費生活センターに相談しましょう。